

# 令和元年度 政務活動費 先進都市調査報告書

会派名	公明党室蘭市議会
議員名	細川 昭広、砂田 尚子、柏木 隆寿
調査実施年月日	令和元年6月28日(金)
調査先 自治体名等	兵庫県三木市
調査項目	「縁結び課の取り組み(定住促進事業)について」
調査目的	晩婚・未婚化が進む一方、出会いの機会を求める独身の男女は依然多く、テレビでもお見合い番組が定期的に放送され婚活ブームは衰える気配がない。移住・定住促進と婚活支援に力を入れてきた三木市を調査し、同様の課題を持つ本市が若者の移住・定住促進を行う糧としたい。
報告内容 実施したこと	<p>1 視察先(市町村)の概要 人口:78,084人 (H30.10.1現在) 行政面積:176.51km<sup>2</sup></p> <p>2 視察内容</p> <p>三木市の人口は昭和45年頃からニュータウン開発により急激に増加し平成9年10月末に人口88,232人でピークを迎えた。その後、若者世代の市外流出や出生数の低下により継続的に減少(年間500人弱)している。一方、高齢化も進み平成27年には高齢化率30.1%となっているが反面、合計特殊出生率は平成17年に1.07と県内最低水準となった。その要因の一つに女性の未婚率上昇が考えられ、県内平均よりも晩婚化が男女ともに高くなっていた。三木市では平成13年から市内有志が「みきハート・まちおこし実行委員会」を設立し、婚活パーティーを随時開催していたが成果に乏しかった。婚活支援を活発化し若者の移住・定住を更に促進するため、市内の様々な団体参画のもと平成20年に「みきで愛(出会い)サポートセンター」を設立し婚活サポーターによるマッチングを開始、平成26年には行政としても庁内に「縁結び課」を新設し強力にバックアップをはかってきた。縁結び課の業務内容は出会い、住居探し、定住までの切れ目のない支援。平成20年度から29年度までのお見合い件数3,857件、成婚数95組(平成30年度は10組)となっており、市内定住者は合計49組98人、出生数は31人(平成30年度は10人)、市内転入者は合計37人とこのことで着々と成果をあげている。</p>
感想(まとめ) 本市へ活かせること等	<p>本市も以前、単発で婚活パーティーを商工会議所の協力を得て実施されたが成果に乏しかった。三木市と同様に婚活パーティーだけではなかなか成婚に至ることが難しいと思う。三木市では「みきで愛(出会い)サポートセンター」の設立が契機となり、婚活サポーターの献身的な働き(マッチング)により成婚率が上昇したと推察される。成婚数が増加するにつれ近隣地域からの相談登録者数も増加し、マッチング数もさらに増え、成婚につながっている。成婚カップルの新居所在地は市内49組・市外46組なので勤務先の所在地も関係してくるが市内定住に向けた行政の支援策が重要と感じた。本市も定住促進のための婚活事業に再度取り組むのであれば、三木市のように婚活パーティー開催で終わらせるのではなく「婚活サポーター」なども組織し、行政支援と連携した取り組みが必要と感じた。</p>